

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

直接法による定額法で減価償却を実施している。

(2) 会計方針の変更

① 科目の見直しについて

平成19年度予算より改正された「新公益法人会計基準」に基づき科目を見直しました。

(平成19年度収支予算書に注記として記載)

増減計算書の前年対比が顕著な科目は、この見直しが要因です。

② 会議費の取扱いについて

法人会会計では、これまで「会議費」は独立した大科目として「事業費」と「管理費」の間に置いていたが公益会計基準に基づき、今年度より原則的に「管理費」とし内容により区分して一部を「事業費」に計上しました。前年対比の増減の理由はこの記載方法の変更が要因です。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	5,000,000	0	0	5,000,000
小 計	5,000,000	0	0	5,000,000
特定資産				
減価償却引当資産	10,671,968	543,474	0	11,215,442
構築物引当資産	600,000	100,000	0	700,000
会員名簿引当資産	700,000	0	0	700,000
周年行事引当資産	0	1,200,000		1,200,000
周年行事引当資産（女性部会）	1,000,000	0	1,000,000	0
周年行事引当資産（青年部会）	500,000	0	0	500,000
小 計	13,471,968	1,843,474	1,000,000	14,315,442
合 計	18,471,968	1,843,474	1,000,000	19,315,442

3. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
事務所建物	27,210,000	8,522,172	18,687,828
構築物	1,723,000	1,205,933	517,067
什器備品	1,092,390	1,048,694	43,696
合 計	30,025,390	10,776,799	19,248,591

4. その他

今回、新たに計上したもの

(1) 周年行事引当資産

今回、30周年記念事業の準備として1,200,000円計上

(2) 什器備品費

・事務管理上必要な為、購入し、什器備品として計上

(内訳)

耐火金庫	74,750
------	--------

パソコン(周辺機器含)	271,600
-------------	---------

プリンター	186,900
-------	---------

533,250	(一般会計	423,934	収益特別会計	109,316)
---------	-------	---------	--------	----------